

日本臨床検査自動化学会科学技術委員会  
平成 26 年度第 2 回委員会議事録案 (Ver. 1. 0)

1. 日時：平成 26 年 10 月 10 日（金）16:20～17:20
2. 場所：神戸コンベンションセンター（国際会議場 504+505 号室）  
（日本臨床検査自動化学会第 46 回大会会場）
3. 出席者（敬称略）：桑、大澤、細萱、飯塚、大久保、白井、芦原、三村、山舘、池田、片岡、神山、村本、山本、篠原、河口、松原、外園、柏木、田中、高笠、谷本、石井、御子柴、村野  
欠席者（敬称略）：市原、澤部、松本
4. 配布資料  
資料 No. 1：委員名簿  
資料 No. 2：平成 26 年度第 1 回委員会議事録  
資料 No. 3：科学技術委員会マニュアル第 14 集企画案  
資料 No. 4：IHE 臨床検査部門活動報告

5. 議事：

1) 報告事項

(1) 第 15 回科学技術セミナー開催状況報告

大澤委員長より、10 月 9 日に開催された第 15 回科学技術セミナーの参加者概要について報告があった。セミナー参加者受付の集計結果から、参加者構成は事前予約者のユーザが 105 名、メーカーが 22 名、小計が 127 名で、当日予約者のユーザが 56 名、メーカーが 38 名、小計が 94 名で、合計 221 名の参加者数であったことが報告された。参加者の年齢構成や講義へのコメントなどは今後アンケート調査結果を集計することとした。

2) 審議事項

(1) 平成 26 年度第 1 回委員会議事録の承認

資料 2 の前回議事録は承認された。

(2) 科学技術委員会マニュアル第 14 集企画について

大澤委員長から、企画案「免疫化学検査の異常データの解釈と対応の仕方（資料 3）」について提案説明があった。総論と各論の著者案は、石橋みどり氏、亀子光明氏、青木義政氏、阿部正樹氏を執筆候補者とし、また測定方法別の各論は和光純薬、富士レビオ、シスメックス、ロシュ、シーメンス、ニッポー、LSI メディエンス、アルフレッサファーマの各社を候補として執筆依頼することとした。10 月末までに正式な執筆依頼を行い、1 月末までに原稿執筆、3 月まで

に編集校正のスケジュールで発刊作業を進めることとした。

(3) 第16回技術セミナー企画について

マニュアル第14集「免疫化学検査の異常データの解釈と対応の仕方」をテーマとし、次回委員会でセミナー内容、演者を決定することとした。

(4) IHE 臨床検査部門活動報告について

大久保委員から、資料4により IHE 臨床検査部門活動の国内普及活動、国際活動の報告があった。今後、特集号の発刊について検討を行うこととした。

(5) 今後の委員会活動について

前回委員会での討議を踏まえ、次期委員長は池田委員、副委員長は澤部委員（事務局担当）、大久保委員（マニュアル、セミナー担当）とすることで了承され、池田委員、大久保委員より挨拶があった。また、今期で退任となる大澤委員長、細萱副委員長より挨拶があった。

3) 次回の開催予定

次回は2015年春季セミナー時に弘前で開催することとし、詳細は追って連絡することとした。

(記録者：細萱茂実)